

平成 30 年度
区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査

概要版

平成 31 年 2 月

大 田 区

■調査概要

調査目的

おおた未来プラン10年（後期）をはじめとする各種計画に掲げる施策の検証や、より効果的な政策立案に資することを目的とし、区内在住の区民を対象とした意識調査を実施する。

調査対象

大田区内に居住する満18歳以上の男女（外国人を含む）

対象数

4,000人

回収数

1,610件（郵送1,348件＋電子申請262件）

有効回収率

40.3%

抽出方法：層化無作為抽出

調査方法：配付は郵送方式、回答収集は郵送又は電子申請方式

■グラフの見方

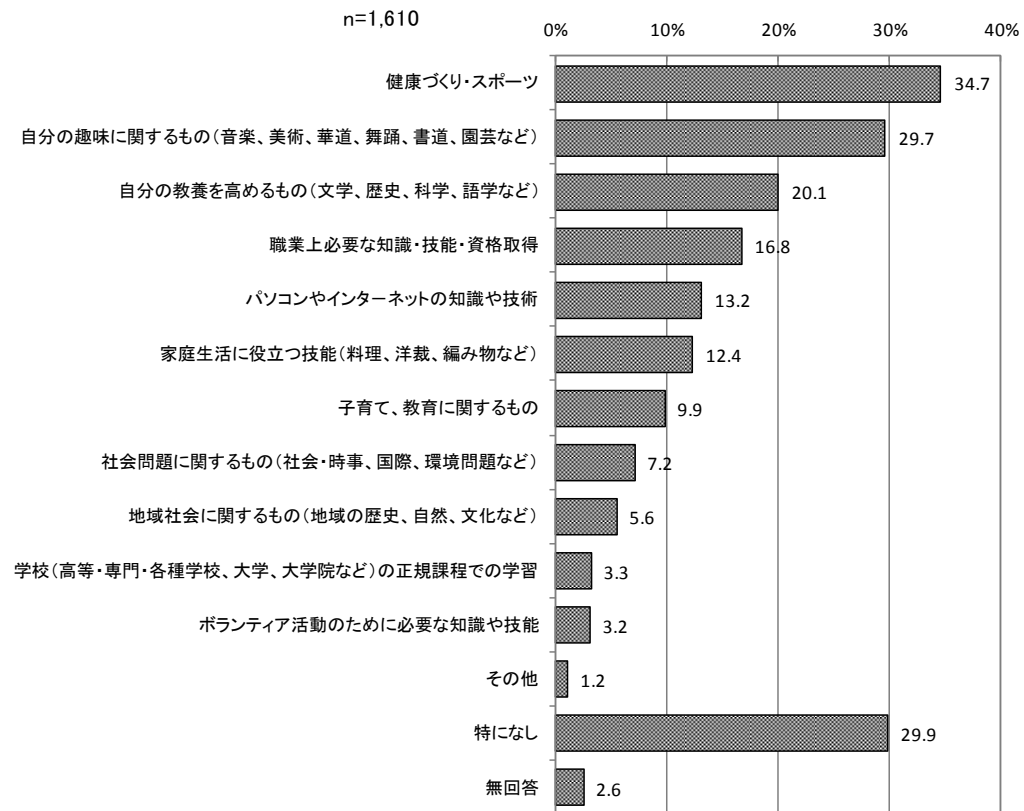
- ・結果の数値は原則として回答率（％）で表記している。回答率（％）は、その質問項目に該当する回答者の数を出しており、『n=』と表記している。また、複数回答についても回答者の数としているため、合計しても100.0%とならない場合がある。
- ・集計は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合がある。
- ・グラフや表のタイトルなどは、スペースなどの関係から一部省略した表現としている箇所がある。

目次

(1) 生涯学習について	P.2
(2) 図書館の利用	P.2
(3) スポーツ・文化活動について	P.5
(4) ボランティア・地域活動について	P.6
(5) 生活やレジャーに関する情報について	P.6
(6) 普段の買い物・生活について	P.8
(7) 大田区の公共交通機関の満足度	P.10
(8) 住まいの建物について	P.11
(9) コミュニティサイクル・自転車利用について	P.12
(10) 喫煙・受動喫煙について	P.14
(11) 食品ロス・フードドライブについて	P.16
(12) 大田区への愛着等について	P.19

(1) 生涯学習について

問1 あなたは、最近1年間にどのような生涯学習の活動を行いましたか。(〇はいくつでも)

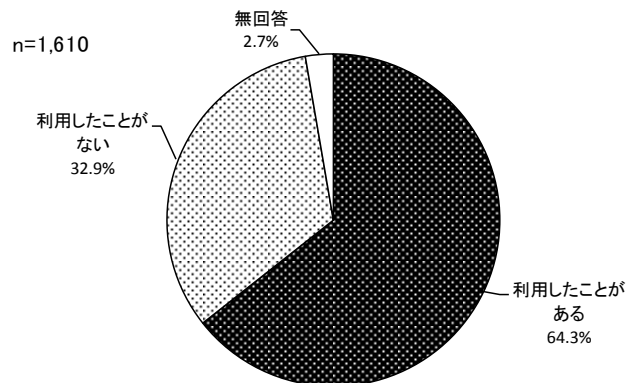


最近1年間の生涯学習について聞いたところ、「健康づくり・スポーツ」が34.7%で最も高く、次いで「自分の趣味に関するもの(音楽、美術、華道、舞踊、書道、園芸など)」(29.7%)、「自分の教養を高めるもの(文学、歴史、科学、語学など)」(20.1%)となっている。

一方、「特になし」は29.9%となっている。

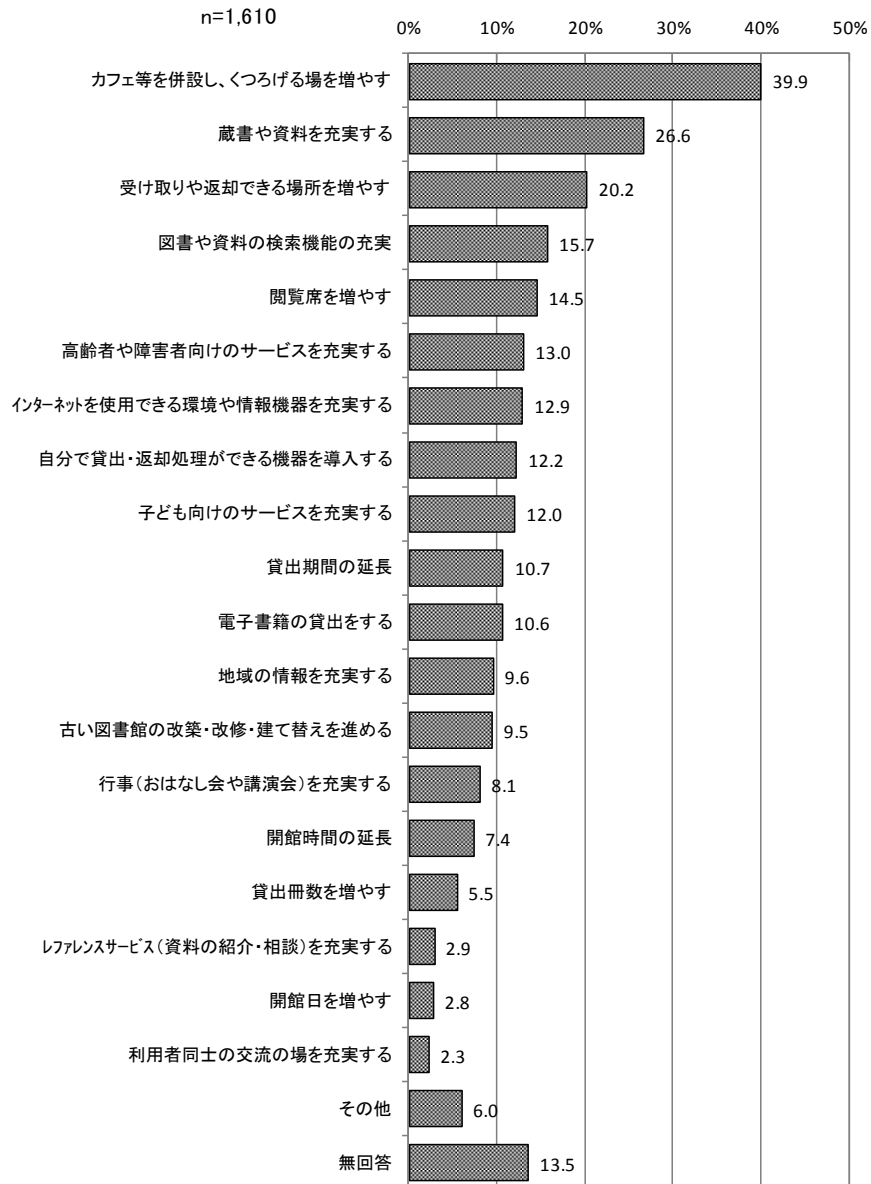
(2) 図書館の利用

問2 あなたは、区立図書館を利用したことがありますか。(〇は1つ)



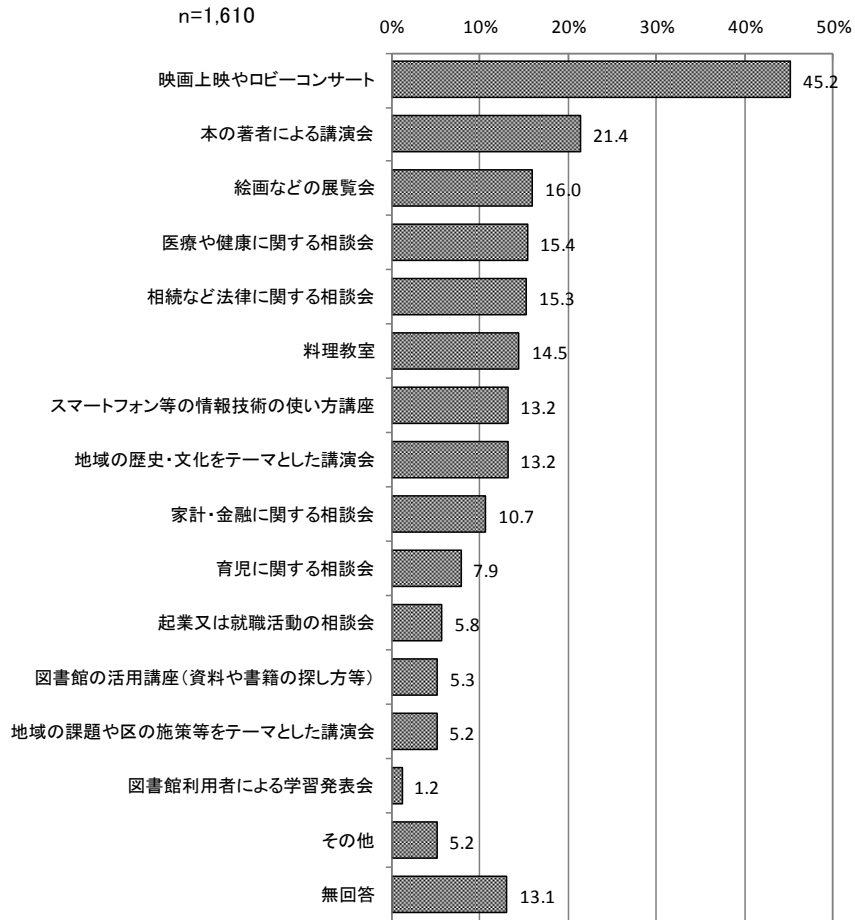
区立図書館の利用の有無について聞いたところ、「利用したことがある」は64.3%、「利用したことがない」は32.9%となっている。

問3 今後、図書館に積極的に取り組んでほしいことは何ですか。(〇はいくつでも)



今後、区立図書館に積極的に取り組んでほしいことを聞いたところ、「カフェ等を併設し、くつろげる場を増やす」が39.9%で最も高く、次いで「蔵書や資料を充実する」(26.6%)、「受け取りや返却できる場所を増やす」(20.2%)となっている。

問4 あなたは、区立図書館でどのようなイベントがあれば参加してみたいですか。(〇はいくつでも)

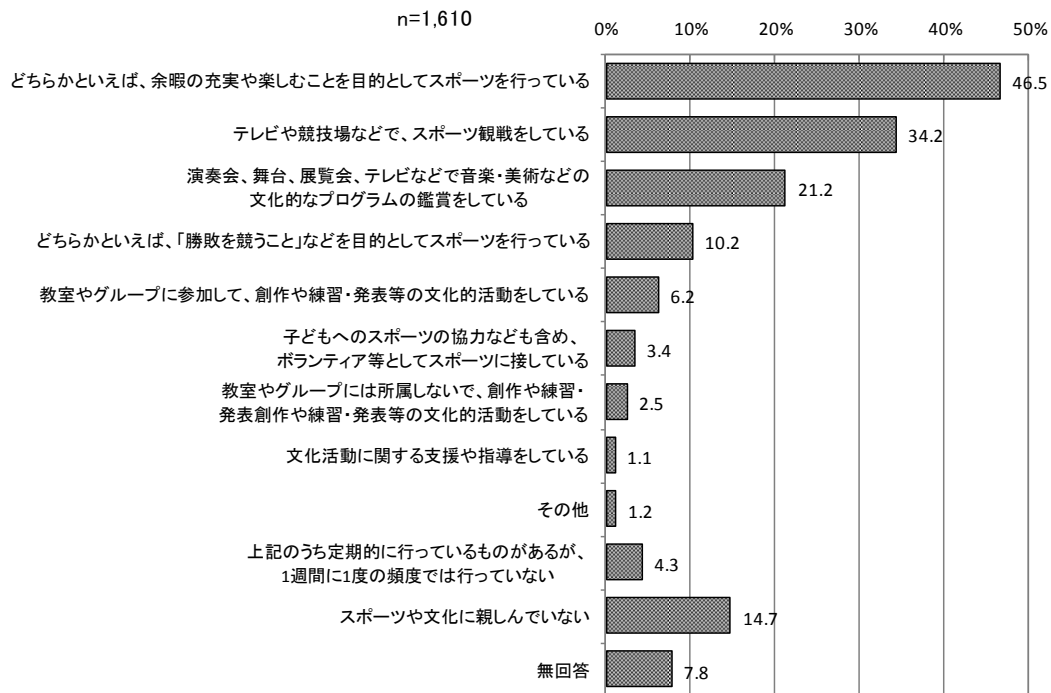


区立図書館で参加してみたいイベントを聞いたところ、「映画上映やロビーコンサート」が45.2%で最も高く、次いで「本の著者による講演会」(21.4%)となっている。

また、「絵画などの展覧会」、「医療や健康に関する相談会」、「相続など法律に関する相談会」、「料理教室」は1割台半ばとなっており、大きな差異は見られない。

(3) スポーツ・文化活動について

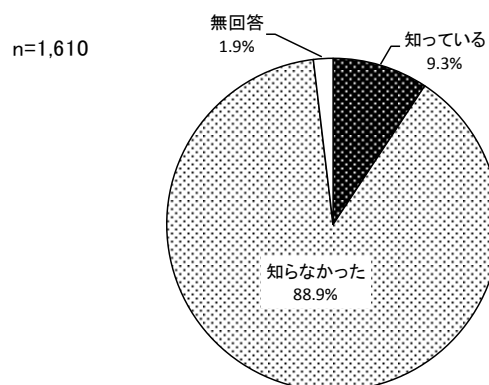
問5 あなたは、普段どのような形でスポーツや文化に親しんでいますか。次のうち、1週間に1度以上行っているものを教えてください。(〇はいくつでも)



普段どのような形でスポーツや文化に親しんでいるかを聞いたところ、「どちらかといえば、余暇の充実や楽しむことを目的としてスポーツを行っている」が46.5%で最も高く、次いで「テレビや競技場などで、スポーツ観戦をしている」(34.2%)、「演奏会、舞台、展覧会、テレビなどで音楽・美術などの文化的なプログラムの鑑賞をしている」(21.2%)となっている。

一方、「スポーツや文化に親しんでいない」は14.7%となっている。

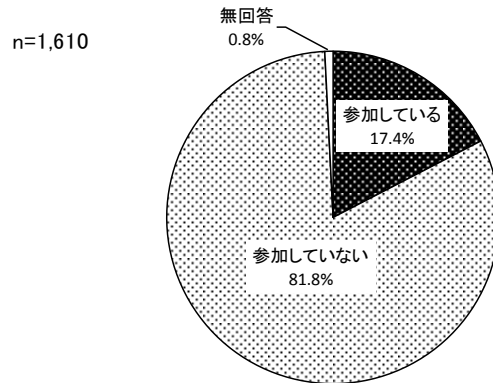
問6 あなたは、2020年にブラジルのオリンピック選手団が大田区内で事前キャンプを行うことを知っていますか。(〇は1つ)



2020年にブラジルのオリンピック選手団が大田区内で事前キャンプを行うことを知っているかを聞いたところ、「知っている」が9.3%、「知らなかった」が88.9%となっている。

(4) ボランティア・地域活動について

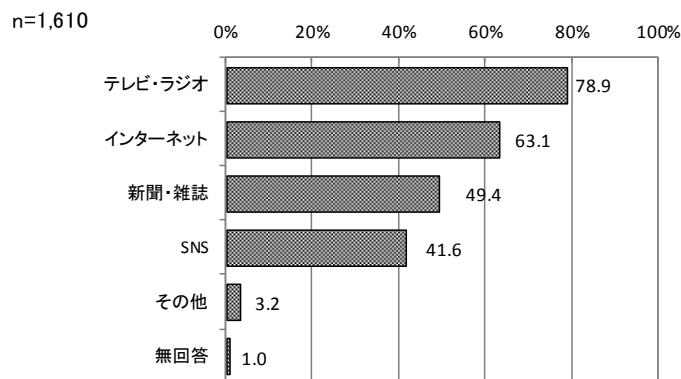
問7 あなたは、ボランティア活動など地域や地域の人を支える活動に現在参加していますか。
(○は1つ)



ボランティア活動など地域や地域の人を支える活動について聞いたところ、「参加している」が17.4%、「参加していない」が81.8%となっている。

(5) 生活やレジャーに関する情報について

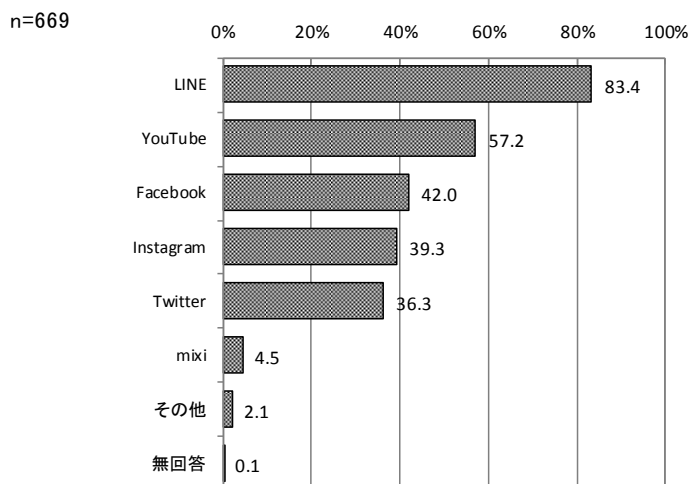
問8 あなたは、生活やレジャーに関する情報をどのような媒体から得ていますか。(○はいくつでも)



生活やレジャーに関する情報をどのような媒体から得ているかを聞いたところ、「テレビ・ラジオ」が78.9%、「インターネット」が63.1%、「新聞・雑誌」が49.4%、「SNS」が41.6%となっている。

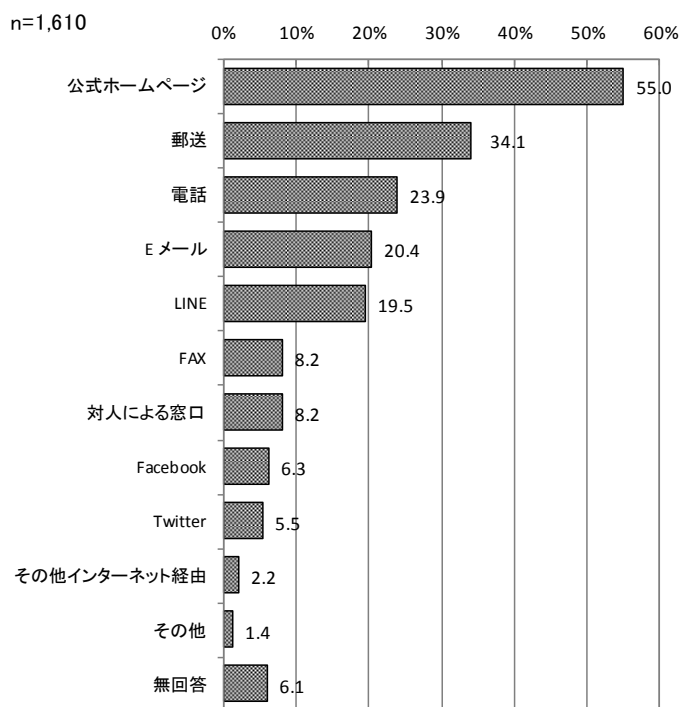
【問8で「4. SNS」と回答された方】

問8-1 あなたは、どの SNS を利用していますか。(〇はいくつでも)



情報を得る際「SNS」を使う人に、どの SNS を利用しているか聞いたところ、「LINE」が 83.4%、「You Tube」が 57.2%、「Facebook」が 42.0%、「Instagram」が 39.3%、「Twitter」が 36.3%、「mixi」が 4.5%となっている。

問9 行政や民間企業等が主催する様々なイベントに申込み場合、あなたにとって利用しやすい方法は次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

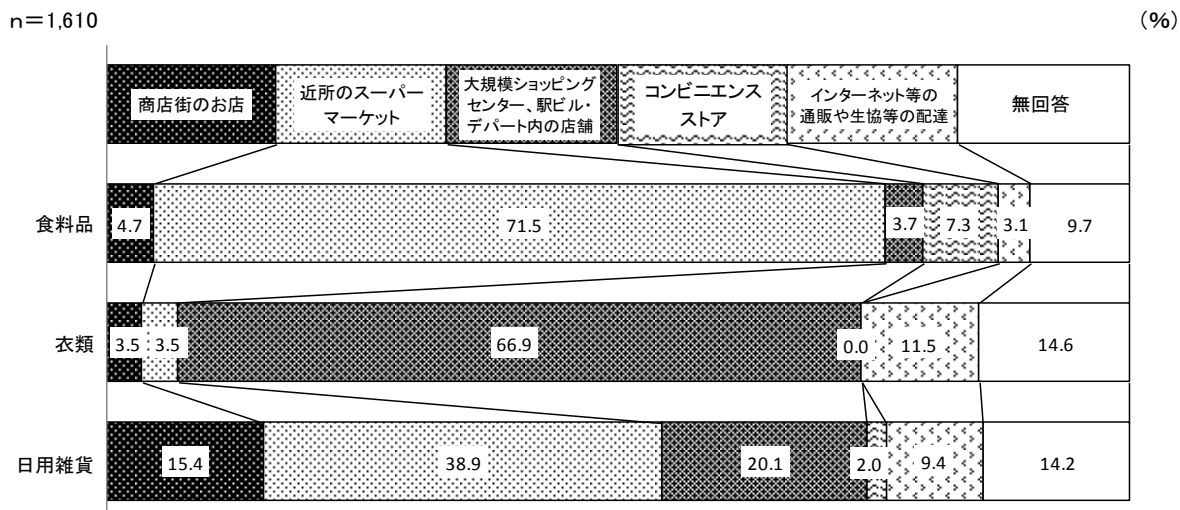


様々なイベントに申込み場合、利用しやすい方法を聞いたところ、「公式ホームページ」が 55.0%で最も高く、次いで「郵送」(34.1%)、「電話」(23.9%)、「Eメール」(20.4%)、「LINE」(19.5%)となっている。

(6) 普段の買い物・生活について

問 10 あなたが普段の買い物で利用するのはどのようなお店ですか。項目ごとに最も多く利用する業態と、その理由をそれぞれ選択肢から1つ選んでください。

【普段の買い物で利用するお店（業態）】



【食料品】を購入する際、普段の買い物で利用するお店の業態を聞いたところ、「近所のスーパーマーケット」が71.5%で最も高く、次いで「コンビニエンスストア」(7.3%)、「商店街のお店」(4.7%)となっている。

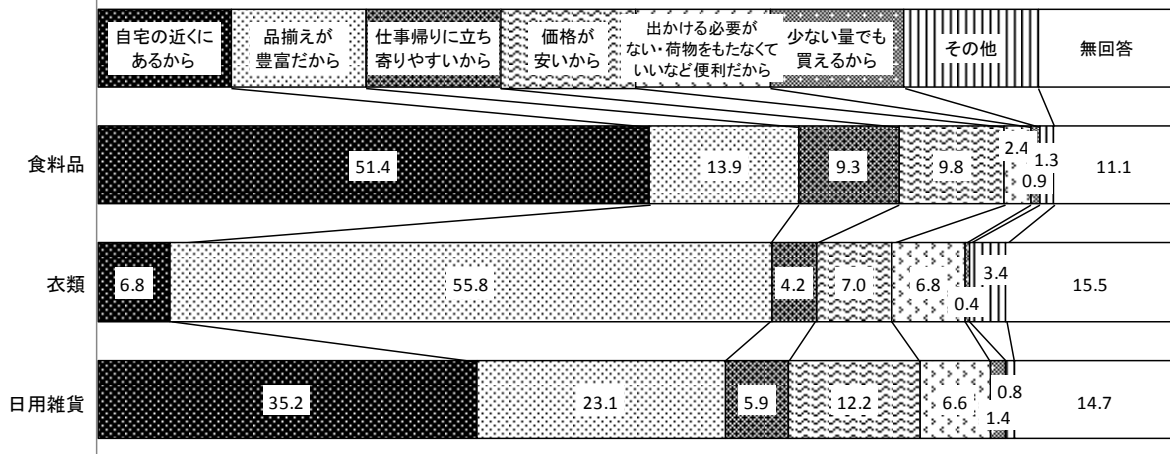
【衣類】を購入する際、普段の買い物で利用するお店の業態を聞いたところ、「大規模ショッピングセンター、駅ビル・デパート内の店舗」が66.9%で最も高く、次いで「インターネット等の通販や生協等の配達」(11.5%)、「商店街のお店」「近所のスーパーマーケット」(同率3.5%)となっている。

【日用雑貨】を購入する際、普段の買い物で利用するお店の業態を聞いたところ、「近所のスーパーマーケット」が38.9%で最も高く、次いで「大規模ショッピングセンター、駅ビル・デパート内の店舗」(20.1%)、「商店街のお店」(15.4%)となっている。

【普段の買い物で利用するお店（そのお店を最も利用する理由）】

n=1,610

(%)

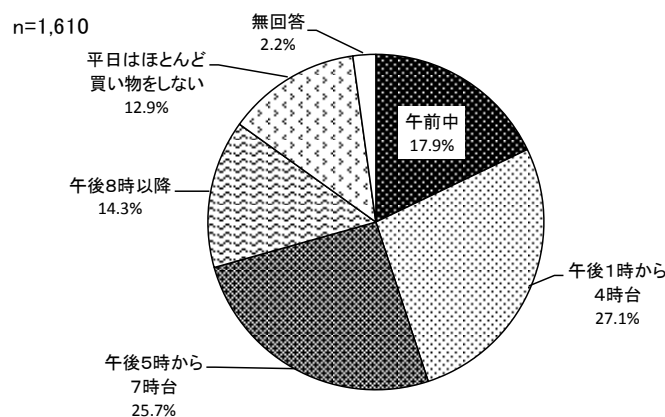


【食料品】を購入する際、普段の買い物で利用するお店を選ぶ理由について聞いたところ、「自宅の近くにあるから」が51.4%で最も高く、次いで「品揃えが豊富だから」(13.9%)、「価格が安いから」(9.8%)となっている。

【衣類】を購入する際、普段の買い物で利用するお店を選ぶ理由について聞いたところ、「品揃えが豊富だから」が55.8%で最も高く、次いで「価格が安いから」(7.0%)、「自宅の近くにあるから」、「出かける必要がない・荷物をもたなくていいなど便利だから」(同率6.8%)となっている。

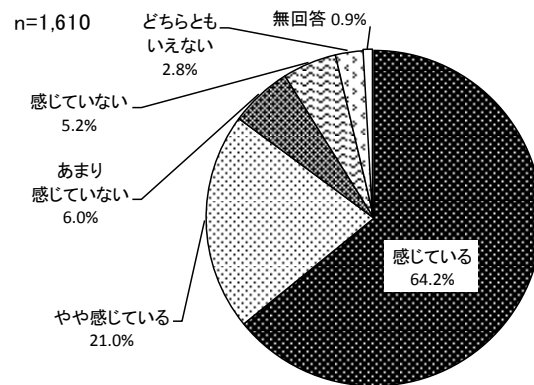
【日用雑貨】を購入する際、普段の買い物で利用するお店を選ぶ理由について聞いたところ、「自宅の近くにあるから」が35.2%で最も高く、次いで「品揃えが豊富だから」(23.1%)、「価格が安いから」(12.2%)となっている。

問 11 平日に食料品や日用品の買い物をする時間帯はどれですか。最も多いものを選んでください。(○は1つ)



食料品や日用品の買い物をする時間を聞いたところ、「午後1時から4時台」が27.1%で最も高く、次いで「午後5時から7時台」(25.7%)、「午前中」(17.9%)となっている。

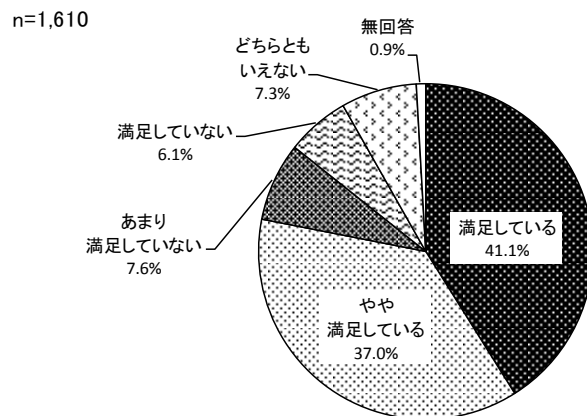
問 12 あなたのご自宅の周辺は、近くにバス停や駅があるなど、公共交通機関が利用しやすいと感じていますか。(〇は1つ)



自宅周辺の公共交通機関が利用しやすいと感じているかを聞いたところ、《感じている(合計)》(「感じている」と「やや感じている」の合計)が85.2%、《感じていない(合計)》(「あまり感じていない」と「感じていない」の合計)が11.2%、「どちらともいえない」が2.8%となっている。

(7) 大田区の公共交通機関の満足度

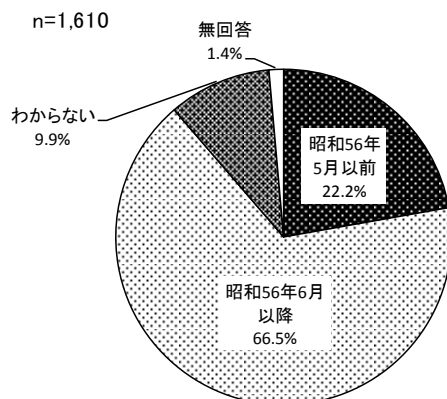
問 13 大田区内の公共交通網(電車・バスなど)に満足していますか。(〇は1つ)



大田区内の公共交通機関に満足しているかを聞いたところ、《満足している(合計)》(「満足している」と「やや満足している」の合計)が78.1%、《満足していない(合計)》(「あまり満足していない」と「満足していない」の合計)が13.7%、「どちらともいえない」が7.3%となっている。

(8) 住まいの建物について

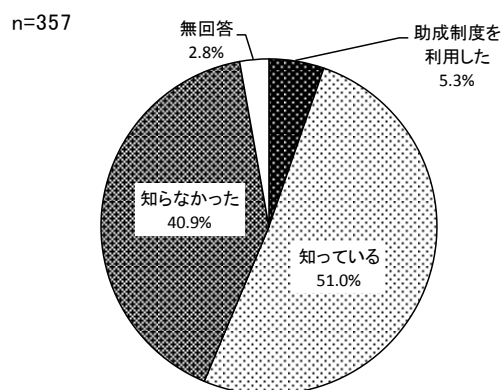
問 14 あなたがお住まいの建物は、いつ建てられたものですか。(○は1つ)



居住している建物がいつ建てられたかを聞いたところ、「昭和56年5月以前」が22.2%、「昭和56年6月以降」が66.5%、「わからない」が9.9%となっている。

【問 14 で「1. 昭和 56 年 5 月 以前」と回答された方】

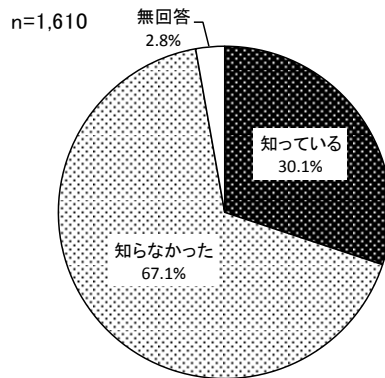
問 14-1 大田区では災害に強いまちづくりを進めるため、昭和56年5月以前の耐震基準で建てられた住宅やマンションの耐震化を推進しています。耐震診断や耐震改修工事を行う際に助成制度を設けていますが、あなたはこの制度をご存知ですか。(○は1つ)



耐震診断や耐震改修工事を行う際に助成制度があることを知っているかと聞いたところ、「助成制度を利用した」は5.3%、「知っている」が51.0%、「知らなかった」は40.9%となっている。(図表8-4)

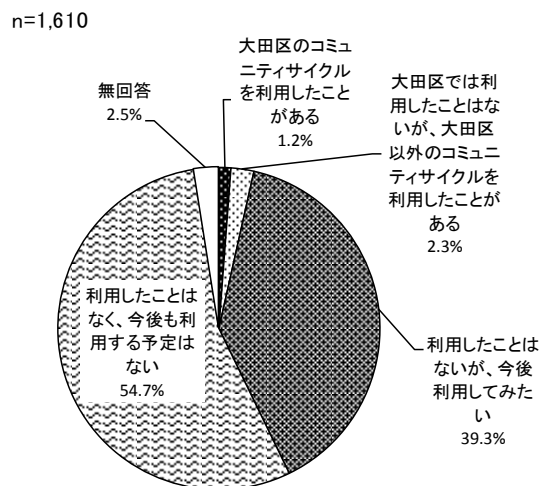
(9) コミュニティサイクル・自転車利用について

問 15 あなたは、大田区内で「コミュニティサイクル」が運営されていることをご存知ですか。
(○は1つ)



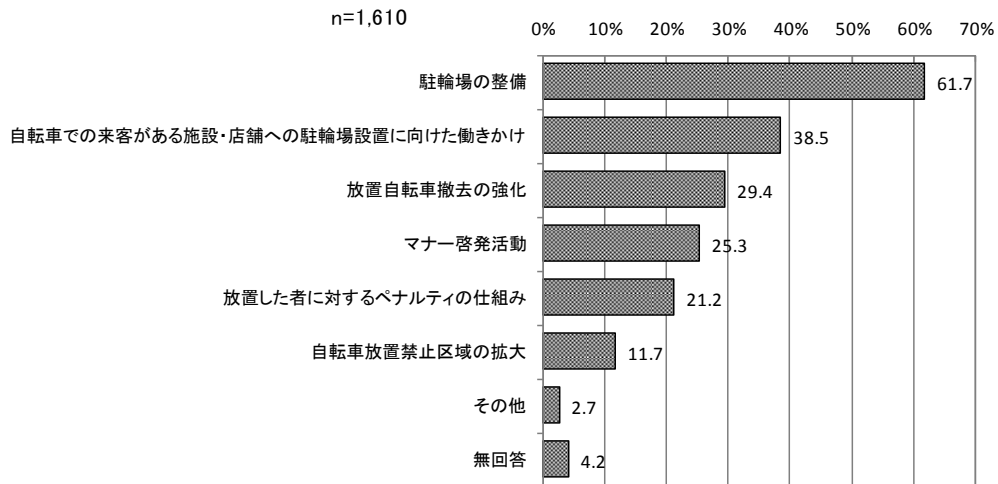
大田区内でコミュニティサイクルが運営されているのを知っているかと聞いたところ、「知っている」が30.1%、「知らなかった」が67.1%となっている。

問 16 あなたは、コミュニティサイクルを利用したことがありますか。(○は1つ)



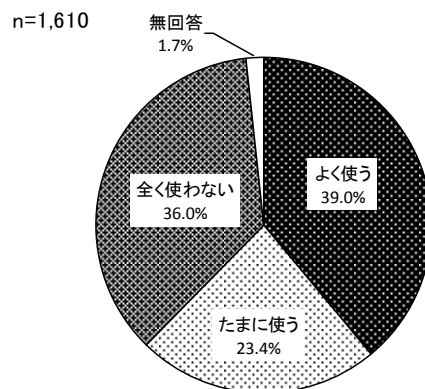
コミュニティサイクルの利用の有無を聞いたところ、「大田区のコミュニティサイクルを利用したことがある」が1.2%、「大田区では利用したことはないが、大田区以外のコミュニティサイクルを利用したことがある」が2.3%、「利用したことはないが、今後利用してみたい」が39.3%、「利用したことはないが、今後も利用する予定はない」が54.7%となっている。

問 17 区内の放置自転車対策として、力を入れてほしいことは何ですか。(〇はいくつでも)



放置自転車対策として力を入れてほしいことを聞いたところ、「駐輪場の整備」が61.7%で最も高く、次いで「自転車での来客がある施設・店舗への駐輪場設置に向けた働きかけ」(38.5%)、「放置自転車撤去の強化」(29.4%)となっている。

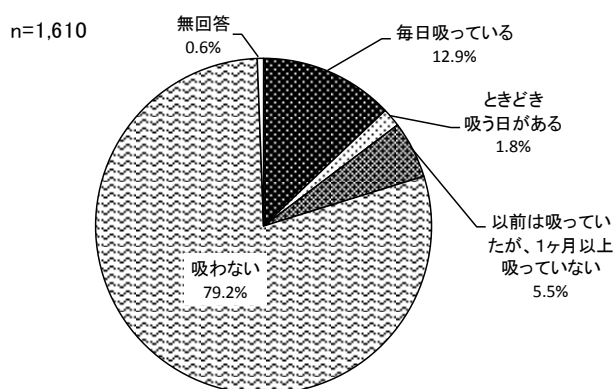
問 18 あなたは、普段から自転車を使いますか。(〇は1つ)



普段から自転車を使うか聞いたところ、《使う(合計)》(「よく使う」と「たまに使う」の合計)が62.4%、「全く使わない」が36.0%となっている。

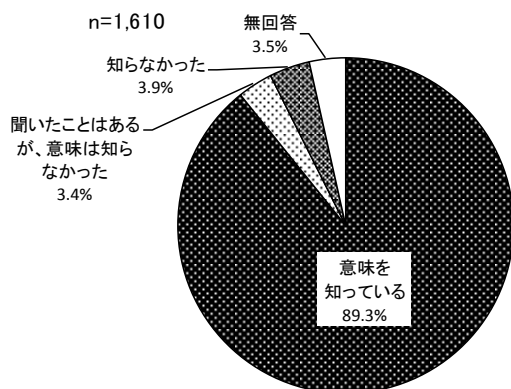
(10) 喫煙・受動喫煙について

問 19 あなたは、たばこを吸いますか。(○は1つ)



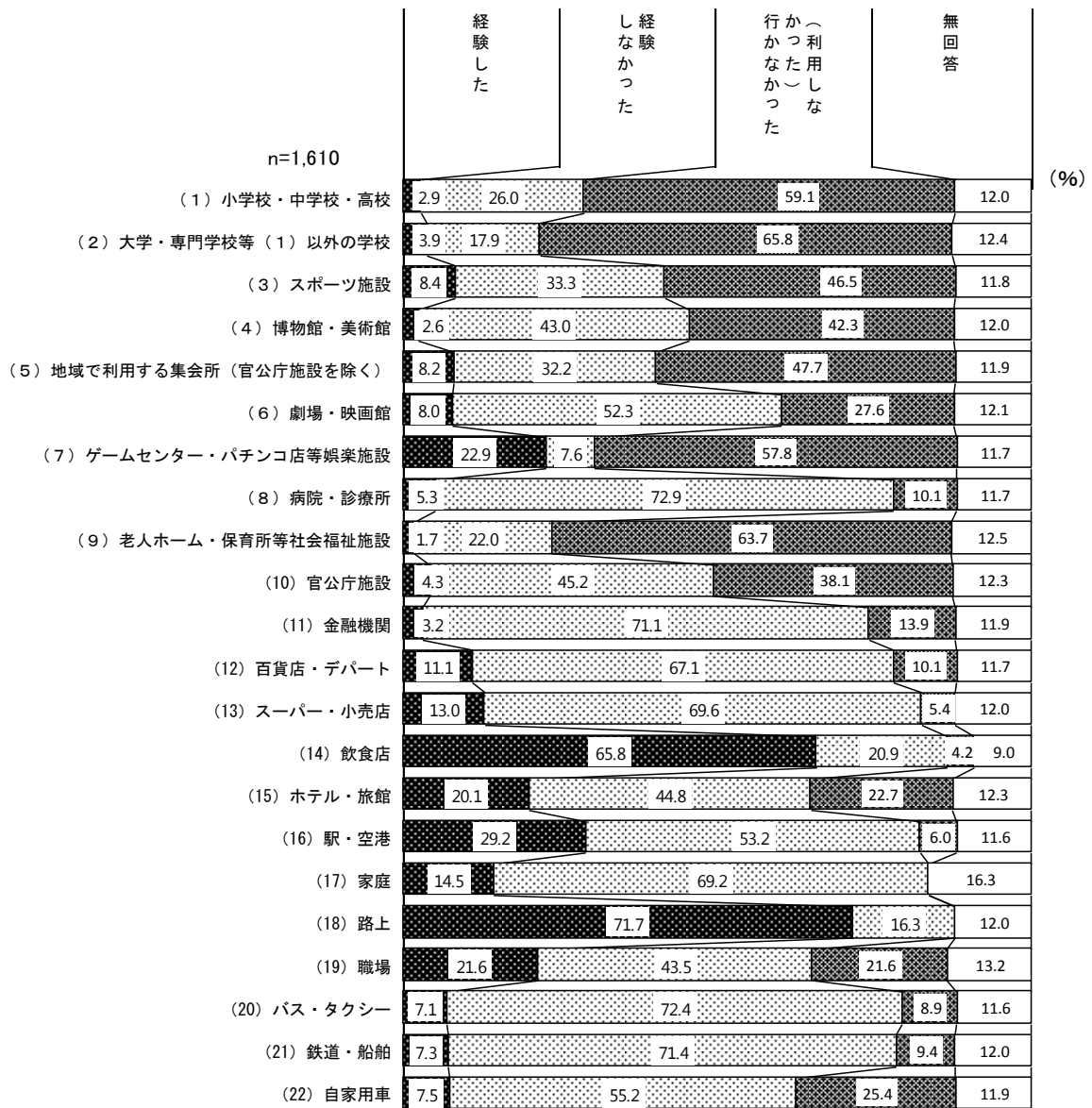
たばこを吸うかを聞いたところ、「毎日吸っている」が12.9%、「時々吸う日がある」が1.8%、「以前は吸っていたが、1ヶ月以上吸っていない」が5.5%、「吸わない」が79.2%となっている。

問 20 あなたは、「受動喫煙」という言葉をご存知ですか。(○は1つ)



「受動喫煙」という言葉を知っているかと聞いたところ、「意味を知っている」が89.3%、「聞いたことはあるが、意味は知らなかった」が3.4%、「知らなかった」が3.9%となっている。

問 21 あなたは、おおよそ1年の間に次のような施設（敷地内の屋外、屋内を含む）で受動喫煙を経験しましたか。（○はそれぞれ1つ）



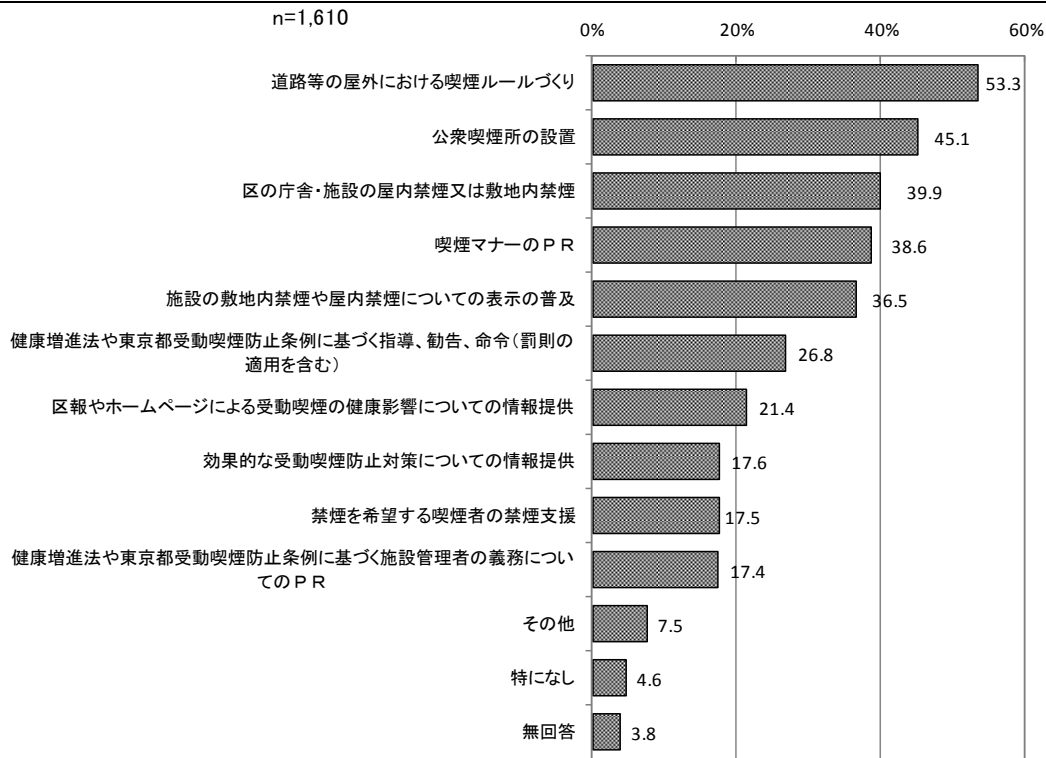
※ 「(17) 家庭」と「(18) 路上」については、「3. 行かなかった(利用しなかった)」の選択肢を除外している。

受動喫煙を経験した施設について聞いたところ、「経験した」では路上が71.7%で最も高く、次いで飲食店(65.8%)、駅・空港(29.2%)となっている。「経験した」中で低いものは、老人ホーム・保育所等社会福祉施設(1.7%)、博物館・美術館(2.6%)、小学校・中学校・高校(2.9%)となっている。

一方、受動喫煙を「経験しなかった」ではゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設で7.6%が最も低くなっている。

また、ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設、飲食店、路上については、「経験した」と回答した人の割合が「経験しなかった」と回答した人の割合より多い。

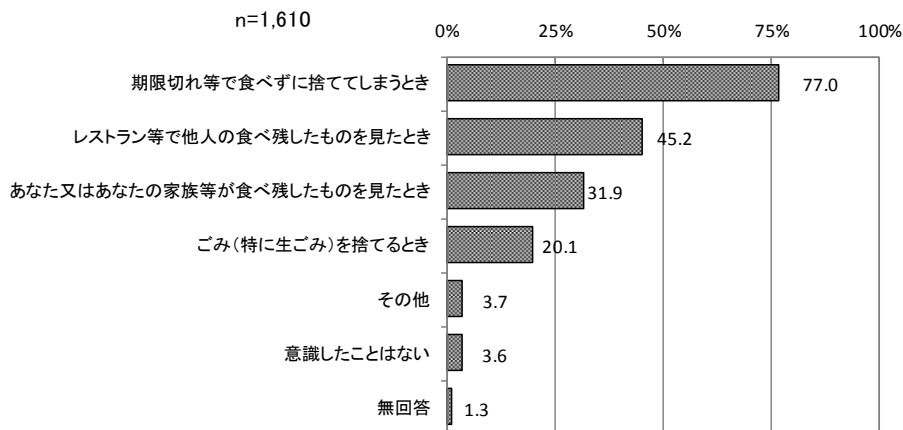
問 22 あなたは、受動喫煙防止に向け、次のうち区が特に推進するべきと考える取り組みはどれだと思いますか。(〇はいくつでも)



受動喫煙防止に向けて、区が特に推進するべきと考える取り組みを聞いたところ、「道路等の屋外における喫煙ルールづくり」が53.3%で最も高く、次いで「公衆喫煙所の設置」(45.1%)、「区の庁舎・施設の屋内禁煙又は敷地内禁煙」(39.9%)となっている。

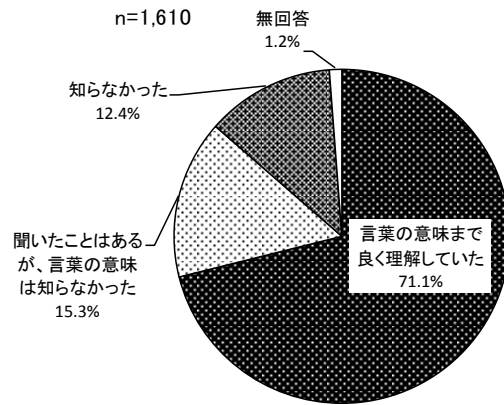
(11) 食品ロス・フードドライブについて

問 23 あなたは、食生活の中で「もったいない」と意識したことがあるのはどんなときですか。(〇はいくつでも)



食生活の中で「もったいない」と意識したことがあるのはどんな時かを聞いたところ、「期限切れ等で食べずに捨ててしまうとき」が77.0%で最も高く、次いで「レストラン等で他人の食べ残したのを見たとき」(45.2%)、「あなた又はあなたの家族等が食べ残したのを見たとき」(31.9%)となっている。

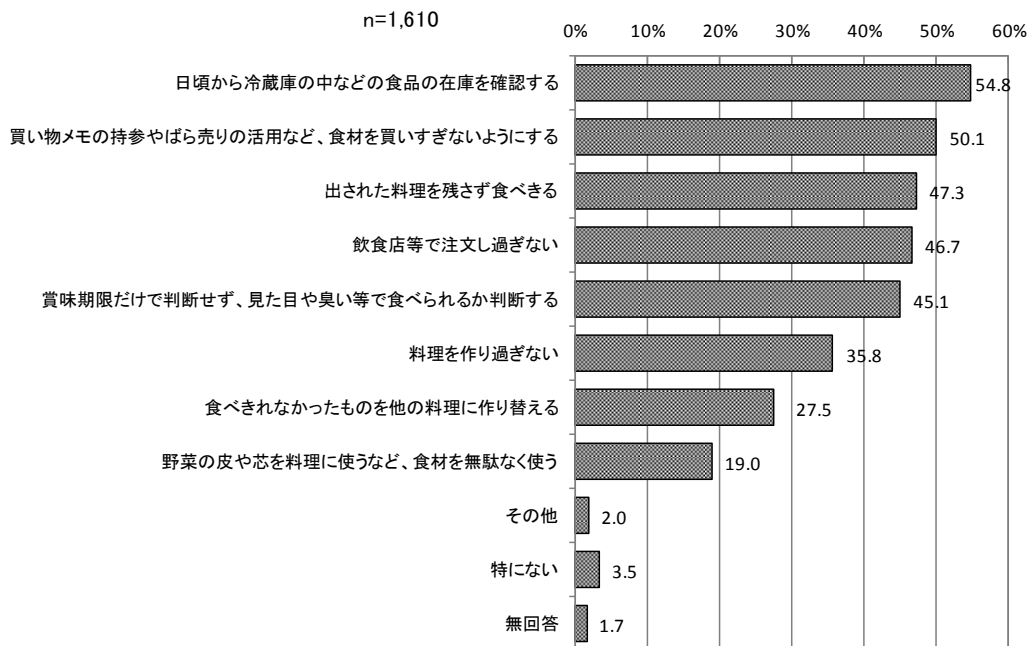
問 24 あなたは、「食品ロス」という言葉をご存知ですか。(○は1つ)



「食品ロス」という言葉を知っているかを聞いたところ、「言葉の意味まで良く理解していた」が71.1%、「聞いたことはあるが、言葉の意味は知らなかった」が15.3%、「知らなかった」が12.4%となっている。

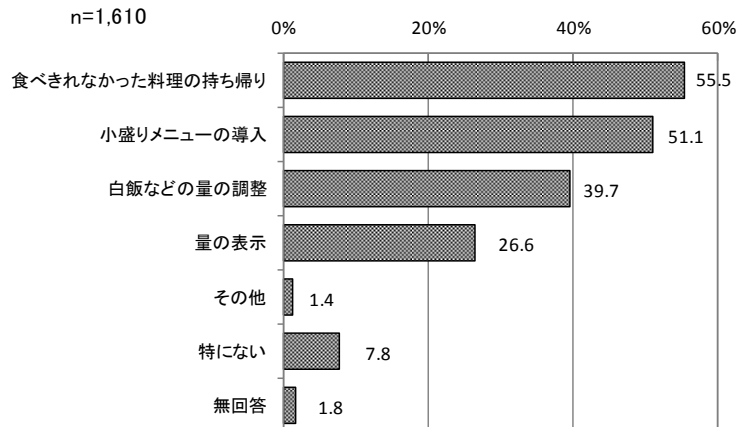
問 25 あなたは、生活の中で「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。

(○はいくつでも)



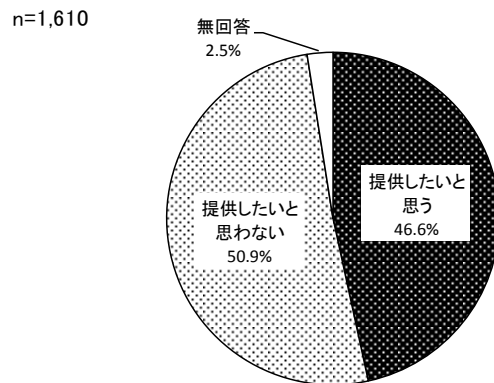
『食品ロス』を減らすための取り組みを聞いたところ、「日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する」が54.8%で最も高く、次いで「買い物メモの持参やばら売りの活用など、食材を買いすぎないようにする」(50.1%)、「出された料理を残さず食べきる」(47.3%)となっている。

問 26 外食をするとき、食べ残しをしないためにお店にして欲しいことは何ですか。(〇はいくつでも)



外食で食べ残しをしないためにお店にして欲しいことは何かを聞いたところ、「食べきれなかった料理の持ち帰り」が 55.5% で最も高く、次いで「小盛りメニューの導入」(51.1%)、「白飯などの量の調整」(39.7%) となっている。

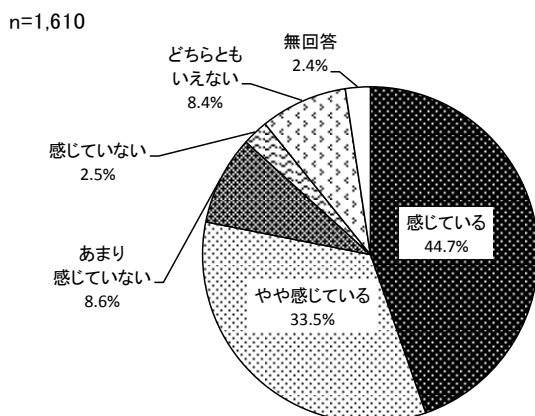
問 27 ご家庭の未利用食品を集めて、必要としている団体等に提供する活動を「フードドライブ」といいます。あなたの家で未利用食品が出た際、フードドライブに提供したいと思いますか。(〇は1つ)



フードドライブに食品を提供したいか聞いたところ、「提供したいと思う」が 46.6%、「提供したいと思わない」が 50.9% となっている。

(12) 大田区への愛着等について

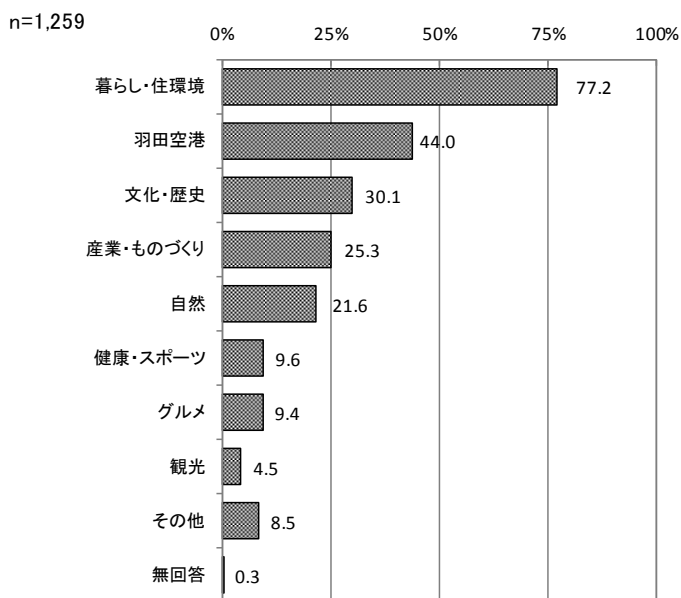
問 28 あなたは、大田区に愛着を感じていますか。(○は1つ)



大田区に愛着を感じているかと聞いたところ、《感じている(合計)》(「感じている」と「やや感じている」の合計)が78.2%、《感じていない(合計)》(「あまり感じていない」と「感じていない」の合計)が11.1%、「どちらともいえない」が8.4%となっている。

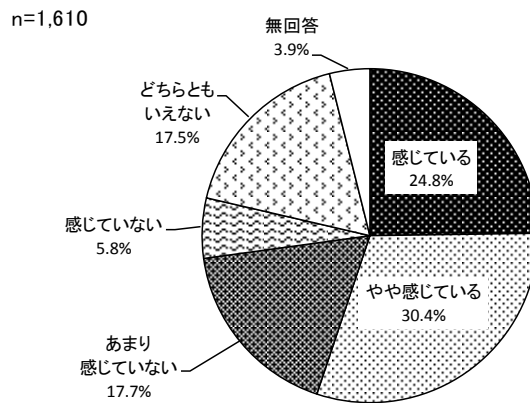
【問 28 で「1. 感じている」または「2. やや感じている」と回答された方】

問 28-1 あなたは、大田区のどのような点に愛着を感じますか。(○はいくつでも)



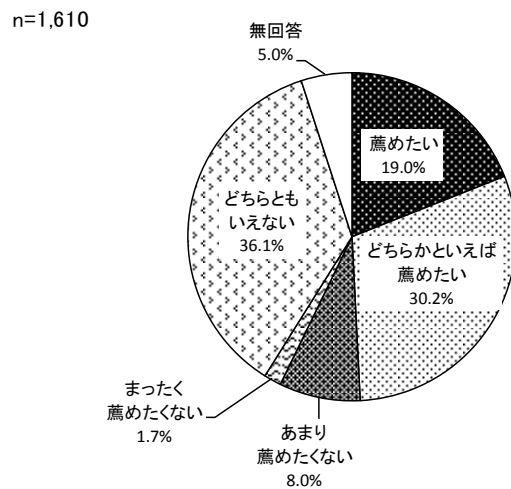
大田区に愛着を感じる点を聞いたところ、「暮らし・住環境」が77.2%で最も高く、次いで「羽田空港」(44.0%)、「文化・歴史」(30.1%)となっている。(図表 12-4)

問 29 あなたは、大田区に誇りを感じていますか。(○は1つ)



大田区に誇りを感じているかと聞いたところ、《感じている (合計)》(「感じている」と「やや感じている」の合計) が 55.2%、《感じていない (合計)》(「あまり感じていない」と「感じていない」の合計) が 23.5%、「どちらともいえない」が 17.5%となっている。

問 30 あなたは、大田区に訪れることを友人・知人に薦めたいですか。(○は1つ)



大田区を友人・知人に薦めたいかと聞いたところ、《薦めたい (合計)》(「薦めたい」と「どちらかといえば薦めたい」の合計) が 49.2%、《薦めたくない (合計)》(「あまり薦めたくない」と「まったく薦めたくない」の合計) が 9.7%、「どちらともいえない」が 36.1%となっている。

平成 30 年度
区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査
概要版

平成 31 年 2 月発行

【発行】 大田区企画経営部企画課

〒144-8621 大田区蒲田五丁目 13 番 14 号

電 話 (03) 5744-1735 (直通)

F A X (03) 5744-1502
